

7 公共建築工事標準仕様書 (建築工事編) (平成19年版抜粋)

4節 ALCパネル

8.4.3 外壁パネル工法

(a) パネルの取付け工法は表8.4.2により、種別は特記による。

表8.4.2 外壁パネルの取付け工法種別

種別	取付け工法
A種	(パネル縦使いスライド) (1) パネル上端は、長辺接合部を可動となる目地用鉄筋付き特殊金物 (径9mm以上、長さ500mm以上) で接合し、モルタルを充填する。 (2) パネル下端は、長辺接合部を固定されたパネル受金物 (厚さ6mm以上) に目地用鉄筋 (径9mm以上、長さ500mm以上) を溶接接合し、モルタルを充填する。
B種	(パネル横使いボルト留め) パネルの左右端は、ボルト (径12mm以上) で接合する。
C種	(パネル縦使いロッキング) (1) パネルは、各段ごとに、構造体に固定した下地鋼材に取り付ける。 (2) 取付け金物は、パネルの上下端部に、ロッキングできるように取り付ける。

8.4.4 間仕切壁パネル工法

(a) パネルの取付け工法は表8.4.3により、種別は特記による。

表8.4.3 間仕切壁パネルの取付け工法種別

種別	取付け工法
B種	(パネル横使い) 表8.4.2のB種による。
C種	(パネル縦使い) 表8.4.2のC種による。
D種	(パネル縦使い) (1) パネル上端は、次のいずれかによる。 (i) 梁、スラブ等の下面にパネル厚さに応じた溝形鋼を通しに取り付ける。この場合パネルの建入れに先立ち、耐火目地材を厚さ20mm程度充填する。 (ii) (i) の工法で、溝形鋼の代わりに、一方は通しの山形鋼を、他方は同材のピースで取り付ける。 (2) パネル下端は各目地ごとに長さ500mm以上の目地用鉄筋を挿入して取り付ける。
E種	(パネル縦使い) (1) パネル上端は、D種 (1) による。 (2) パネル下端は、取付け金物で取り付ける。

8.4.5 屋根及び床パネル工法

(a) パネルの取付け工法は表8.4.4による。

表8.4.4 屋根及び床パネルの取付け工法種別

種別	取付け工法
F種	(1) パネルは、表裏を正しく置き、有効な掛り代を確保して、長辺は突き合わせ、短辺小口相互の接合部には20mm程度の目地を設け、支持梁上になじみよく敷き並べる。 (2) 取付け金物は、溶接等により受材に固定し、目地用鉄筋を取付け金物の孔に通し、パネルの長辺溝部に金物から500mm以上挿入する。 (3) 目地用モルタルを、パネルの長辺溝部及び短辺に設けた目地部分に充填する。

6節 シーリング

表9.6.1 被着体の組合せとシーリング材の種類

被着体の組合せ			シーリング材の種類 (注) 1		
			記号	主成分による区分	
金属	金属	方立目地	SR-2	シリコーン系	
		上記以外の目地	MS-2	変成シリコーン系	
	コンクリート	(注) 2	SR-1	シリコーン系	
	ガラス	ガラス	MS-2	変成シリコーン系	
	石、タイル		MS-2	変成シリコーン系	
ALC	ALC	仕上げなし	MS-2	変成シリコーン系	
		仕上げあり (注) 3	PU-2	ポリウレタン系	
押出成形セメント板	押出成形セメント板	MS-2	変成シリコーン系		
ガラス	ガラス	(注) 2	SR-1	シリコーン系	
石	石	外壁乾式工法の目地	MS-2	変成シリコーン系	
		上記以外の目地	PS-2	ポリサルファイド系	
コンクリート	プレキャストコンクリート	打継ぎ目地	MS-2	変成シリコーン系	
		ひび割れ誘発目地	PS-2	ポリサルファイド系	
		仕上げあり (注) 3	PU-2	ポリウレタン系	
	石、タイル	ALC	仕上げなし	PS-2	ポリサルファイド系
			仕上げあり (注) 3	MS-2	変成シリコーン系
	押出成形セメント板	押出成形セメント板	仕上げなし	PU-2	ポリウレタン系
仕上げあり (注) 3			MS-2	変成シリコーン系	
ALC	ALC	仕上げなし	MS-2	変成シリコーン系	
押出成形セメント板	押出成形セメント板	仕上げあり (注) 3	PU-2	ポリウレタン系	
		仕上げなし	MS-2	変成シリコーン系	
タイル	タイル	仕上げあり (注) 3	PU-2	ポリウレタン系	
アルミニウム製建具等の工場シール		(注) 4	PS-2	ポリサルファイド系	

(注) 1. シーリング材の種類は、JIS A 5758 (建築用シーリング材) による。

- SSG構法、バックマリオン方式、ガラス点支持構法及びガラススクリーンの場合を除く。
- 「仕上げあり」とは、シーリング材表面に仕上塗材、塗装等を行う場合を示す。
- 現場施工のシーリング材と打継ぎが発生する場合の工場シーリング材を示す。
- 材料引張強度の低いものは、50%モジュラスが材料引張強度の1/2以下のものを使用する。
なお、被着体がALCパネルの場合は、50%モジュラスが0.2N/mm²以下とする。
- 異種シーリング材が接する場合は、監督職員と協議する。

□このパンフレットに記載された商品は、品質向上を目的に予告なく設計仕様や取り扱いを変更することがありますので、ご了承ください。

(C)SUMITOMO METAL MINING SIPOREX ALL Rights Reserved